



酪農教育ファームで畜産動物に魅了されて入学を決めました。中学のときは動物園の飼育員を夢見ていましたが、現在の夢は農業高校の教員になることです。私が畜産の魅力に惹かれたように、生徒達にも畜産の魅力を伝え、畜産の未来を担う人材を育て、発展させていきたいです。(3年生、阿部 由奈さん)



学校で開かれた酪農教育ファームに参加した際に本校に興味を抱き、実習が多く3年間楽しく過ごせそうだと感じ入学を決めました。搾乳が好きで牛と触れ合っている時間はとても癒やされます。ここで経験して学んだ食べ物の大切さは、大人になっても忘れることはありません。(3年生、宇田川 楓牙さん)



オープンスクールで牛に触れ、珍しさを感じて入学しました。養牛部を選択したのは牛が可愛いと思ったからです。はじめは機械で搾乳することに驚き、搾乳手順にも戸惑いました。将来は動物と触れ合える仕事に就きたいです。3年生のうちに資格取得を目指して頑張ります。(3年生、荒川 友歌さん)



畜産への関心を高める
県内の中学生を対象に、年に数回酪農教育ファームを企画・開催し畜産への興味を深める活動を積極的に行なう。今後は幼稚園児や小学生なども対象にした教育ファームの開催を目指している。

酪農に憧れや興味を抱き、実践をとおして酪農を学ぶ学生達は今、何に興味を持ち、どのような活躍をしているのか？
未来の酪農業界を担う期待の星を紹介！



中学2年のとき、『銀の匙』を読んで農業高校に興味を持ち、本校に入学しました。オリエンテーションで牛の鼻の可愛さに惹かれ、養牛部に決めました。子牛は可愛く、子牛ペンの掃除が好きです。育種改良や人工授精に興味があり、将来は種雄牛センターで働きたいです。(3年生、三部 慎之祐さん)

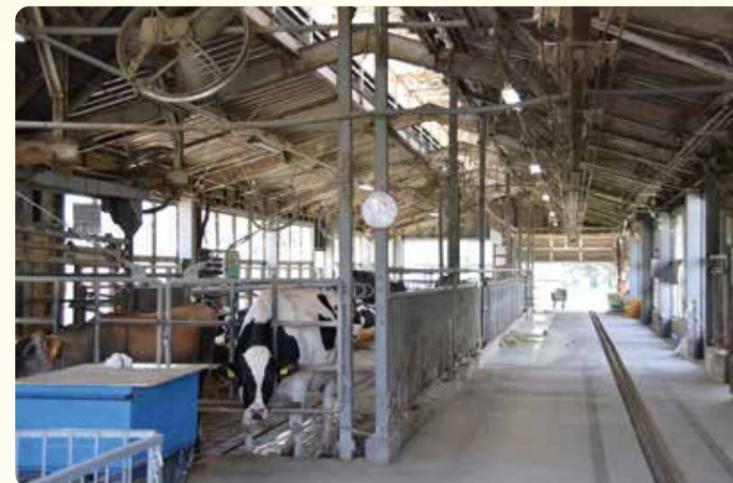


中学の頃から競走馬が好きでした。そのため将来は馬に関わる仕事に就きたいと思っており、多くの動物がいる本校に進学しました。癒やされる哺乳の作業が好きです。将来は馬の専門学校でさらに学び、厩務員として競走馬の育成を目指しています。(3年生、渡邊 凜音さん)



NO.18

群馬県立勢多農林高等学校



概要
群馬県立勢多農林高等学校 養牛部
2年生10名、3年生9名、計19名
フリーストール牛舎(搾乳牛9頭、育成7頭)
活動内容：群馬県内でも有数の農業高校として、農業に関する知識を学ぶ。2年次に牛・豚・鶏の中から専攻を選択。牛について学びを深めたい生徒が集まるのが養牛部。日々の管理から飼料設計など幅広く学習する。
担当教諭：松島 伝一先生 (取材=小川)



大動物の飼育員になることが夢で、学校で一番大きな牛について学べる養牛部を選択しました。入学当初は牛が大きく恐かったですが、今では扱えるようになり、卒業までに農業に関わる資格の取得を目標に、精一杯努力します。(3年生、中村 孔映さん)



実家が肥育農家で、牛のことを学びたいと思い本校に入学しました。小さい頃から和牛に触れる機会はありましたが、搾乳は初めての経験で新鮮な感覚でした。卒業後は進学し、専門的な知識を身につけ、将来は実家を継ぎたいと考えています。(3年生、小林 大河さん)



生徒達が接する牛は教材ではありませんが、生き物です。無機物の教材とは異なり、触れ合うことで反応があり、そこから得られる学びが大切です。将来、ここでの経験を通じて農業に理解のある人に成長してほしいと思っています。(松島 伝一先生)



動物と関わる仕事に就きたいと考えたのと、近所の和牛農家で手伝いをしていたこともあり養牛部を選びました。将来は警察官になりたいと思っており、ここで培った体力を活かして頑張りたいです。(3年生、福島 真利衣さん)



実家が酪農と和牛繁殖農家を営んでおり、実家を継ぐことを志して入学しました。養牛部を選んだのは、将来の牛の管理に必要な知識を得たいからです。祖父がまだ農場で働いているので、農林大学校に進学し、さらに知識を深め、祖父の仕事を引き継ぎたいと考えています。(3年生、鹿沼 聖さん)

学生牛部は今!